

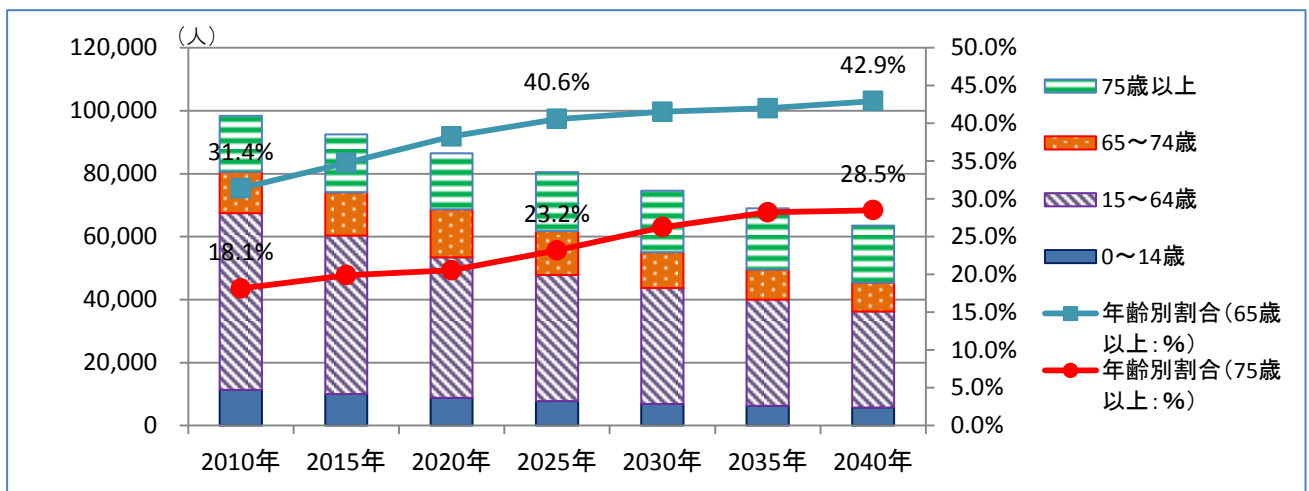
第7節 横手地域医療構想

1 人口及び人口動態の状況

(1) 人口

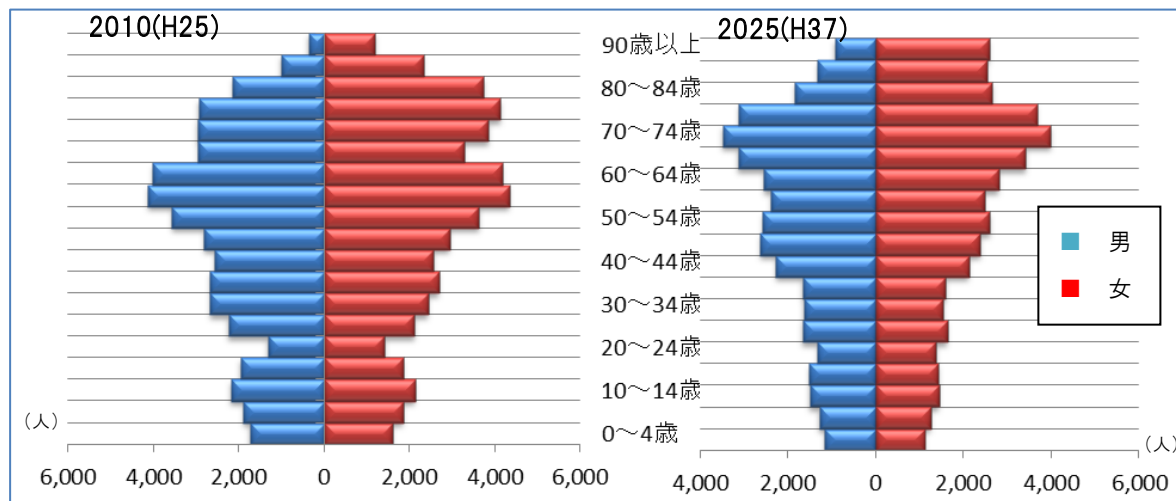
- 平成 22(2010)年国勢調査による横手地域の総人口は、98,367 人（男 46,225 人、女 52,142 人）であり、65 歳以上は 30,879 人、75 歳以上は 17,831 人です。平成 17 年国勢調査時に比べて 5,285 人（5.1%）減少しています。
- 「都道府県の将来推計人口」（平成 25 年 3 月、国立社会保障・人口問題研究所）によると、横手地域の人口は、平成 37(2025)年には 80,422 人、平成 52(2040)年には 63,466 人になると予想されています。
- 65 歳以上の割合は、平成 37(2025)年には 40.6%（32,630 人）、平成 52(2040)年には 42.9%（27,247 人）となり、75 歳以上の割合は、平成 37(2025)年には 23.2%（18,635 人）、平成 52(2040)年には 28.5%（18,089 人）になると予想されています。（図 1）

図 1 人口及び高齢化率の推移



出典：国立社会保障・人口問題研究所「都道府県の将来推計人口（平成 25 年 3 月）」

図 2 人口ピラミッド



出典：国立社会保障・人口問題研究所「都道府県の将来推計人口（平成 25 年 3 月）」

(2) 人口動態

① 出生

- 横手地域における平成 25(2013)年の出生数は人口動態統計によると 538 人、出生率（人口千対）は 5.7 です。（表 1）

② 死亡

- 横手地域における平成 25(2013)年の死亡数は人口動態統計によると 1,413 人、死亡率（人口千対）は 15.0 です。（表 1）
- 悪性新生物による死亡数は 359 人で、死亡者全体の約 25%を占め、死因別の 1 位です。
- 脳血管疾患による死亡数は 171 人で、死亡者全体の約 12%を占め、死因別の 3 位です。
- 心疾患による死亡数は 198 人で、死亡者全体の約 14%を占め、死因別の 2 位です。

表 1 横手地域における人口動態

	横手市				秋田県			
	出生数 (人)	出生率	死亡数 (人)	死亡率	出生数 (人)	出生率	死亡数 (人)	死亡率
H21(2009)	667	6.3	1,296	13.1	7,013	6.4	13,866	12.7
H22(2010)	631	6.4	1,362	13.8	6,688	6.2	14,288	13.2
H23(2011)	645	6.6	1,438	14.8	6,658	6.2	14,642	13.7
H24(2012)	618	6.4	1,411	14.7	6,543	6.2	14,856	14.0
H25(2013)	538	5.7	1,413	15.0	6,177	5.9	14,824	14.2

※出生率・死亡率は人口千対

出典：「秋田県衛生統計年鑑」

表 2 横手地域における三大疾病別の死亡数及び死亡率

		H21 (2009)	H22 (2010)	H23 (2011)	H24 (2012)	H25 (2013)
悪性新生物	死亡数(人)	392	384	404	348	359
	死亡率	3.95	3.90	4.15	3.68	3.79
脳血管疾患	死亡数(人)	155	133	186	160	171
	死亡率	1.56	1.35	1.91	1.69	1.81
心疾患	死亡数(人)	179	239	216	209	198
	死亡率	1.80	2.43	2.22	2.21	2.09

※死亡率は人口千対

出典：「秋田県衛生統計年鑑」

2 医療提供体制の現状と課題

(1) 医療施設等の現状

- 平成 28(2016)年 4 月現在、横手地域の病院は 4 施設あり、そのうち 3 施設は「救急告示病院」の指定を受け、1 施設は精神病院です。
- 「地域包括ケア病棟」を有する病院は 3 施設で 170 床あります。
- 「回復期リハビリテーション病棟」を有する病院はありません。
- 厚生労働省の病院報告によると、平成 26(2014)年における病院の一般病床の利用率は 77.1%、療養病床の利用率は 98.9%です。
- 一般診療所は 83 施設あり、特別養護老人ホーム医務室等を除いた一般的な外来診療を行う施設は 58 施設です。
- 分娩を担う病院は 2 施設、診療所は 2 施設あり、助産所はありません。
- 入院医療について患者の受療動向をナショナル・データベース(NDB)のレセプトデータから見ると、「一般入院基本料」は横手地域では 94.35%が当地域の医療機関を受診しており、大仙・仙北地域から 8.59%、湯沢・雄勝地域から 25.57%流入しています。また、「療養病棟入院基本料」は 66.75%が当地域の医療機関を受診しており、大仙・仙北地域に 26.80%流出しています。(総論 3 ページ表 2・表 3)
- 診断群分類データを用いた分析では、ほとんどの主要診断カテゴリー(Major Diagnostic Category:MDC)で他の医療圏からの患者流入が認められました。(9 ページ参考)

表 3 横手地域における病床数

(単位: 床)

病院							診療所			歯科 診療所
種別	一般	療養	精神	結核	感染症	計	一般	療養	計	
病床数	905	50	362	6	4	1,327	45	0	45	0

出典: 秋田県平鹿地域振興局福祉環境部業務概要 (平成 28 年 4 月 1 日現在)

図 3 横手地域における病院位置図及び病床数

(単位: 床)



	病院名	病床数				
		一般	療養	精神	感染症	結核
①	市立横手病院	225	0	0	4	0
②	市立大森病院	100	50	0	0	0
③	平鹿総合病院	580	0	0	0	6
④	横手興生病院	0	0	362	0	0

表 4 横手地域における病院・診療所・薬局数の推移

	H24(2012)	H25(2013)	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)
病院	4	4	4	4	4
一般診療所	83	84	77	83	83
有床	78	79	72	5	5
無床	5	5	5	78	78
歯科診療所	43	40	41	41	42
薬局	55	57	58	58	57

出典：秋田県平鹿地域振興局福祉環境部業務概要（各年 4 月 1 日現在）

表 5 横手地域の病院の主な指定状況

主な指定区分	病院名	平鹿 総合	市立 横手	市立 大森	横手 興生
DPC 医療機関		Ⅲ 群	Ⅲ 群		
救急告示病院		○	○	○	
精神科救急入院料 1					48 床
療養病棟入院基本料				50 床	
地域包括ケア病棟入院料 1		113 床	47 床	10 床	
回復期リハビリテーション病棟入院料 2					
在宅療養支援病院				○	
外来化学療法加算 1		12 床	5 床		
ハイケアユニット入院医療管理料 1		10 床			
7：1 入院基本料		416 床	182 床		
10：1 入院基本料				50 床	
13：1 入院基本料				50 床	
15：1 入院基本料					54 床

出典：平成 26 年度病床機能報告

【課題】

- 高度急性期から急性期、回復期、慢性期、そして在宅へと切れ目ない医療を提供するために病病連携・病診連携を強化する必要があります。また、これまでに以上に医療と介護の連携体制を推進する必要があります。
- 横手地域には療養病床が少なく、回復期リハビリテーションを行う施設、脳神経外科医も不足しています。
- 急性心筋梗塞の秋田県南部圏域である大仙・仙北地域及び湯沢・雄勝地域からの流入に対し十分に対応することができる体制を維持する必要があります。

（２）在宅医療等に関する施設等の現状

- 平成 28(2016)年 4 月現在、横手地域に「在宅療養支援病院」は 1

施設、「在宅療養支援診療所」は 10 施設、「在宅療養支援歯科診療所」は 5 施設あります。(表 6 上)

- 厚生労働省の医療施設調査によると、平成 26(2014)年 10 月 1 日現在で、往診を実施している病院は 3 施設、診療所は 20 施設あり、在宅患者への訪問診療を実施している病院は 3 施設、診療所は 21 施設となっています。(表 6 下)

表 6 横手地域における在宅医療に関する施設数及び実施状況

	施設数
在宅療養支援病院	1
在宅療養支援診療所	10
在宅療養支援歯科診療所	5
訪問看護ステーション	3

出典：東北厚生局施設基準届出状況

		病院	診療所
往診	施設数	3	20
	実施件数	5	207
在宅患者 訪問診療	施設数	3	21
	実施件数	149	511
在宅 看取り	施設数	1	7
	実施件数	2	10

出典：医療施設調査(平成 26 年 10 月)

表 7 横手地域における介護施設・事業所数

	施設・事業所数	定員
介護療養型医療施設	0	0
介護老人福祉施設(特養)	18	764
介護老人保健施設(老健)	4	450
軽費老人ホーム	4	110
養護老人ホーム	3	150
短期入所生活介護	24	502
小規模多機能型居宅介護	4	—
認知症対応型共同生活介護	17	—
訪問介護	26	—
通所介護	31	—
居宅介護支援事業	37	—

出典：秋田県平鹿地域振興局福祉環境部

業務概要(平成 28 年 4 月 1 日現在)

【課題】

- 横手地域における在宅医療に取り組む医師、歯科医師、訪問看護師等の医療従事者を確保する必要があります。また、在宅診療の担う医師の高齢化も懸念されます。
- 地域包括ケアシステムの構築に資する保健・医療・介護・福祉の連携が必要です。
- 地域住民に多職種による在宅医療の周知・普及が必要です。

(3) 医療従事者の現状

- 平成 26(2014)年末における横手地域の医師のうち、医療施設の従事者は 189 人です。人口 10 万人当たりでは 203 人で県全体の 216 人を下回っています。

- 歯科医師においては、医療施設の従事者は 52 人です。人口 10 万人当たりでは 56 人で県全体の 59 人を下回っています。
- 薬剤師においては、薬局及び医療施設の従事者は 156 人です。人口 10 万人当たりでは、163 人で県全体の 168 人を下回っています。
- 就業看護師は 1,020 人です。人口 10 万人当たりでは、1,096 人で県全体の 1,006 人を上回っています。
- 就業歯科衛生士は 71 人です。人口 10 万人当たりでは、76 人で県全体の 89 人を下回っています。
- 厚生労働省の病院報告によると、平成 26(2014)年 10 月現在、病院に従事する理学療法士は 26 人、作業療法士は 19 人、視能訓練士は 2.8 人、言語聴覚士は 4 人となっています。

表 8 横手地域における医師・歯科医師・薬剤師数の推移 (単位：人)

	H22(2010)	H24(2012)	H26(2014)
医師	193 (197)	191 (199)	194 (208)
病院	132 (135)	122 (127)	127 (136)
診療所	59 (60)	64 (67)	62 (67)
歯科医師	54 (55)	48 (50)	52 (56)
病院	1 (1)	1 (1)	1 (1)
診療所	52 (53)	46 (48)	51 (55)
薬剤師	166 (169)	175 (182)	172 (185)
薬局	121 (123)	130 (136)	129 (139)
病院・診療所	31 (32)	28 (29)	27 (29)

() 内は人口 10 万人対

出典：「秋田県衛生統計年鑑」(各年 1 2 月 3 1 日現在)

表 9 横手地域における就業看護師・准看護師・助産師・保健師・歯科衛生士数の推移 (単位：人)

	H22(2010)	H24(2012)	H26(2014)
看護師	929 (947)	1019 (1062)	1020 (1096)
准看護師	249 (254)	275 (287)	266 (286)
助産師	34 (35)	34 (35)	31 (33)
保健師	57 (58)	58 (60)	59 (63)
歯科衛生士	74 (75)	74 (77)	71 (76)

() 内は人口 10 万人対

出典：「秋田県衛生統計年鑑」(各年 1 2 月 3 1 日現在)

【課題】

- 医師確保については、県で策定した医師不足・偏在改善計画により施策を進めており、県全体として 10 年後の改善を目指しています。しかし、地域偏在や診療科偏在の解消については不透明となっています。
- 理学療法士、作業療法士等リハビリテーションを担う医療従事者が不足しています。

3 将来の医療需要と病床数の推計

(1) 各病床機能の医療需要と推計される病床数

- 医療需要から平成 37 (2025) 年の病床数の必要量は、高度急性期 73 床、急性期 281 床、回復期 173 床、慢性期 199 床、合計 726 床と推計されます。
- 平成 26 年度の病床機能報告と比較すると高度急性期、回復期及び慢性期が不足し、急性期が過剰となることが見込まれます。(表 10)

表 10 横手地域における 2025 年に必要と推計される病床数と病床機能報告の比較

医療機能	平成 37 (2025) 年			平成 26 年度 病床機能報告	
	医療需要 (人/日)	病床数の必要量		病床数 (床)	構成比
		病床数 (床)	構成比		
高度急性期	73	97	11.2%	48	4.8%
急性期	281	360	41.6%	848	85.2%
回復期	173	192	22.2%	0	0.0%
慢性期	199	216	25.0%	100	10.0%
計	726	865	100.0%	996	100.0%

出典：厚生労働省「必要病床数推計ツール」

(2) 在宅医療等の医療需要

- 平成 25(2013)年度と平成 37(2025)年を比較すると在宅医療等の医療需要は 12 人減少すると見込まれます。(表 12)

表 12 横手地域における慢性期及び在宅医療等の医療需要の比較

医療機能	平成 25(2013)年度の 医療需要 (人/日)	平成 37(2025)年の 医療需要 (人/日)
慢性期	204	199
在宅医療等	1,153	1,141
(再掲)うち訪問診療分	555	551

出典：厚生労働省「必要病床数推計ツール」

4 目指すべき方向性及び実現のための施策

(1) 医療機能の分化・連携

- 将来の医療需要に対応したバランスの取れた医療機能を持つ体制を目指します。
- 現在の医療機能の充実を基本としながら、不足する回復期や慢性期の機能については湯沢・雄勝地域等との連携を図ります。
- がん及び脳血管疾患の治療、リハビリテーションは地域内で概ね対応できしており、現在の機能を維持するために当該診療に関わる医療機関の連携体制を強化します。
- 急性心筋梗塞における秋田県南部圏域の中核として、必要な医師確保を含む医療機能の充実を図ります。

(2) 在宅医療の推進と関係機関との連携

- 地域で安心して療養できるよう在宅医療の機能強化を重点的に図りながら、包括的な医療・介護・福祉の提供体制を目指します。
- 多職種連携を強化し、関係職種の在宅医療への関与を促進するほか、在宅医療に従事する医療・介護従事者の専門的知識・技術等の向上のための取組みを推進します。
- 地域包括支援センターのコーディネート機能を強化するとともに、「顔の見える関係づくり」を進めながら、横手市医師会と横手市を中心とした、医療・介護・福祉の連携体制の強化を推進し、地域包括ケアシステムの構築を促進します。
- 地域住民に対する在宅医療の普及のため、多様な媒体を用いて関連情報の提供を図ります。

(3) 医療従事者の確保

- 地域で必要な医療機能を担う人材資源の充実を目指します。
- 理学療法士、作業療法士等回復期リハビリテーションを担う医療従事者について、秋田県内に養成校ができたことにより、将来的には充足することが期待されていますが、従事者が地域に定着するよう引き続き確保に努めます。

(4) その他

- 健診データの活用や市町村が実施するがん検診に関する事業への支援により健（検）診受診率の向上を図り、病気の早期発見につなげ、医療需要を抑えていく地域体制づくりを進めます。

【参考】

平成26年度二次医療圏別MDC別患者数と受け入れ患者数推計値

患者数：各医療圏に住所のある患者数 推計値：各医療圏の医療機関が受け入れていると推定される患者数
 流入(%)＝差／患者数×100により求めた。値が正であれば流入有、負であれば流出有と推測される。

二次医療圏	人口	患者数	MDC01 推計値	差	流入(%)	患者数	MDC02 推計値	差	流入(%)	患者数	MDC03 推計値	差	流入(%)
大館・鹿角	111,243	643	600.6	-42	-6.6%	497	431.4	-66	-13.2%	482	494.6	13	2.6%
北秋田	35,462	234	117.9	-116	-49.6%	102	52.2	-50	-48.9%	196	68.0	-128	-65.3%
能代・山本	82,551	603	545.7	-57	-9.5%	320	251.0	-69	-21.5%	374	349.4	-25	-6.6%
秋田周辺	402,703	2,524	3061.0	537	21.3%	1,185	1708.4	523	44.2%	1,460	1773.3	313	21.5%
由利本荘・にかほ	104,999	730	690.0	-40	-5.5%	1,151	1175.9	25	2.2%	586	511.9	-74	-12.6%
大仙・仙北	129,991	926	708.3	-218	-23.5%	420	130.4	-290	-68.9%	453	293.5	-159	-35.2%
横手	91,663	554	575.2	21	3.8%	403	347.8	-55	-13.7%	372	496.6	125	33.5%
湯沢・雄勝	64,801	412	327.2	-85	-20.6%	243	223.9	-19	-7.9%	303	238.7	-64	-21.2%
計		6,626	6626.0	0	0.0%	4,321	4321.0	0	0.0%	4,226	4226.0	0	0.0%

二次医療圏	人口	患者数	MDC04 推計値	差	流入(%)	患者数	MDC05 推計値	差	流入(%)	患者数	MDC06 推計値	差	流入(%)
大館・鹿角	111,243	958	747.7	-210	-22.0%	716	359.9	-356	-49.7%	2,128	1998.2	-130	-6.1%
北秋田	35,462	508	425.9	-82	-16.2%	217	139.4	-78	-35.7%	723	472.7	-250	-34.6%
能代・山本	82,551	885	857.0	-28	-3.2%	713	569.6	-143	-20.1%	1,820	1764.4	-56	-3.1%
秋田周辺	402,703	4,625	5191.9	567	12.3%	2,607	3386.4	779	29.9%	8,566	9933.2	1367	16.0%
由利本荘・にかほ	104,999	1,701	1623.0	-78	-4.6%	1,004	985.8	-18	-1.8%	2,649	2213.8	-435	-16.4%
大仙・仙北	129,991	1,343	1010.2	-333	-24.8%	740	374.0	-366	-49.5%	3,262	2417.3	-845	-25.9%
横手	91,663	1,236	1739.5	503	40.7%	640	1166.3	526	82.2%	2,178	3276.7	1099	50.4%
湯沢・雄勝	64,801	901	561.8	-339	-37.6%	487	142.7	-344	-70.7%	1,722	971.8	-750	-43.6%
計		12,157	12157.0	0	0.0%	7,124	7124.0	0	0.0%	23,048	23048.0	0	0.0%

二次医療圏	人口	患者数	MDC07 推計値	差	流入(%)	患者数	MDC08 推計値	差	流出(%)	患者数	MDC09 推計値	差	流出(%)
大館・鹿角	111,243	565	559.8	-5	-0.9%	182	141.2	-41	-22.4%	111	58.3	-53	-47.4%
北秋田	35,462	172	83.3	-89	-51.5%	45	20.6	-24	-54.1%	41	0.0	-41	-100.0%
能代・山本	82,551	537	523.7	-13	-2.5%	151	127.1	-24	-15.9%	81	59.5	-22	-26.6%
秋田周辺	402,703	1,863	2426.3	563	30.2%	658	957.8	300	45.6%	425	599.2	174	41.0%
由利本荘・にかほ	104,999	504	309.7	-194	-38.5%	138	94.5	-44	-31.5%	73	58.3	-15	-20.1%
大仙・仙北	129,991	669	456.9	-212	-31.7%	186	60.8	-125	-67.3%	162	96.5	-66	-40.4%
横手	91,663	358	388.9	31	8.6%	130	142.3	12	9.4%	88	135.8	48	54.3%
湯沢・雄勝	64,801	236	155.4	-81	-34.2%	89	34.8	-54	-61.0%	67	40.4	-27	-39.7%
計		4,904	4904.0	0	0.0%	1,579	1579.0	0	0.0%	1,048	1048.0	0	0.0%

二次医療圏	人口	患者数	MDC10 推計値	差	流出(%)	患者数	MDC11 推計値	差	流出(%)	患者数	MDC12 推計値	差	流出(%)
大館・鹿角	111,243	296	281.2	-15	-5.0%	680	571.9	-108	-15.9%	1,103	999.3	-104	-9.4%
北秋田	35,462	82	43.3	-39	-47.2%	251	117.9	-133	-53.0%	220	53.2	-167	-75.8%
能代・山本	82,551	278	246.2	-32	-11.4%	795	844.5	50	6.2%	690	597.5	-93	-13.4%
秋田周辺	402,703	1,630	1874.8	245	15.0%	2,709	3136.3	427	15.8%	2,815	3510.4	695	24.7%
由利本荘・にかほ	104,999	358	316.2	-42	-11.7%	822	709.3	-113	-13.7%	808	762.5	-46	-5.6%
大仙・仙北	129,991	274	172.0	-102	-37.2%	929	784.1	-145	-15.6%	906	538.9	-367	-40.5%
横手	91,663	269	327.6	59	21.8%	665	813.8	149	22.4%	585	866.3	281	48.1%
湯沢・雄勝	64,801	165	90.7	-74	-45.1%	671	544.2	-127	-18.9%	422	220.9	-201	-47.7%
計		3,352	3352.0	0	0.0%	7,522	7522.0	0	0.0%	7,549	7549.0	0	0.0%

二次医療圏	人口	患者数	MDC13 推計値	差	流入(%)	患者数	MDC14 推計値	差	流入(%)	患者数	MDC15 推計値	差	流入(%)
大館・鹿角	111,243	264	203.5	-60	-22.9%	409	477.9	69	16.8%	101	96.8	-4	-4.2%
北秋田	35,462	58	22.9	-35	-60.6%	62	14.6	-47	-76.4%	33	27.9	-5	-15.3%
能代・山本	82,551	146	104.5	-42	-28.4%	116	38.0	-78	-67.2%	121	130.7	10	8.0%
秋田周辺	402,703	927	1159.1	232	25.0%	829	936.3	107	12.9%	494	504.9	11	2.2%
由利本荘・にかほ	104,999	201	186.1	-15	-7.4%	237	235.1	-2	-0.8%	389	394.2	5	1.3%
大仙・仙北	129,991	215	166.5	-48	-22.5%	178	66.3	-112	-62.7%	157	98.8	-58	-37.1%
横手	91,663	157	187.2	30	19.2%	170	287.7	118	69.2%	355	439.1	84	23.7%
湯沢・雄勝	64,801	101	39.2	-62	-61.2%	133	78.0	-55	-41.3%	205	162.6	-42	-20.7%
計		2,069	2069.0	0	0.0%	2,134	2134.0	0	0.0%	1,855	1855.0	0	0.0%

二次医療圏	人口	患者数	MDC16 推計値	差	流入(%)	患者数	MDC17 推計値	差	流入(%)	患者数	MDC18 推計値	差	流入(%)
大館・鹿角	111,243	712	721.6	10	1.3%	16	-	16	100.0%	154	114.4	-40	-25.7%
北秋田	35,462	238	173.6	-64	-27.0%	-	-	-	-	62	33.5	-29	-46.0%
能代・山本	82,551	686	735.1	49	7.2%	14	-	14	100.0%	108	98.2	-10	-9.1%
秋田周辺	402,703	2,343	2552.5	209	8.9%	66	122.9	57	86.2%	559	718.7	160	28.6%
由利本荘・にかほ	104,999	669	576.0	-93	-13.9%	24	32.1	8	33.9%	180	147.8	-32	-17.9%
大仙・仙北	129,991	761	635.3	-126	-16.5%	-	-	-	-	114	65.8	-48	-42.3%
横手	91,663	556	635.3	79	14.3%	-	-	-	-	137	188.8	52	37.8%
湯沢・雄勝	64,801	372	307.8	-64	-17.3%	10	-	10	100.0%	77	23.7	-53	-69.2%
計		6,337	6337.0	0	0.0%	155	155.0	0	0.0%	1,391	1391.0	0	0.0%

MDC01 神経系疾患、MDC02 眼科系疾患、MDC03 耳鼻咽喉科系疾患、MDC04 呼吸器系疾患、MDC05 循環器系疾患
 MDC06 消化器系疾患、肝臓・胆道・脾臓疾患、MDC07 筋骨格系疾患、MDC08 皮膚・皮下組織の疾患、MDC09 乳房の疾患、
 MDC10 内分泌・栄養・代謝に関する疾患、MDC11 腎・尿路系疾患及び男性生殖系疾患、MDC12 女性生殖系疾患及び
 産褥期疾患・異常妊娠分娩、MDC13 血液・造血器・免疫臓器の疾患、MDC14 新生児疾患、先天性奇形、MDC15 小児疾患、
 MDC16 外傷・熱傷・中毒、MDC17 精神疾患、MDC18 その他の疾患

出典：秋田大学地域医療政策学講座